

公務員総合学科 [2年制]

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

- 求める人物像
 - 地域社会で積極的に活動する意欲を持ち、地域社会が抱えている様々な公共的課題に関心があり、それらを学問的に学ぶための論理的思考力を備えた学生を求めています。
 - 国家や地方公共団体に、全体の奉仕者として貢献したい意思を持つ人を求めています。
 - 自己啓発を行い、向上心を持つ人を求めています。
- 入学者選抜の基本方針
 - 高等学校卒業以上の学歴を持つ学生であることを求めています。
 - 学業に積極的に取り組む姿勢があることを求めています。

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

1. 1年次に、数的推理Ⅰ、判断推理Ⅰ、文章理解Ⅰ、社会科学Ⅰ、人文科学Ⅰ、自然科学Ⅰ、総合演習Ⅰなどの科目を通じて、基礎的知識を確実に学習します。
2. 2年次に、数的推理Ⅱ、判断推理Ⅱ、文章理解Ⅱ、社会科学Ⅱ、人文科学Ⅱ、自然科学Ⅱ、総合演習Ⅱなどの科目を通じて、応用的知識を確実に学習します。
3. 1年次に、コンピュータ演習Ⅰ、商業簿記Ⅰなどの資格取得を通じて、公務員としての実務能力の基礎的知識を確実に学習します。
4. 2年次に、コンピュータ演習Ⅱ、商業簿記Ⅱなどの資格取得を通じて、公務員としての実務能力の応用的知識を確実に学習します。
5. 1年次のインターンシップ・ボランティア実習、接遇マナー演習、2年次のコミュニケーション実習などにより、チームで働く力、主体性、課題発見力を養い、公務員としての地域貢献の意識と高いコミュニケーション能力を身につけます。2年次の卒業研究の作成によって、これまでの学習の集大成を行います。

目指す人材像

ディプロマポリシー

Y I C 公務員専門学校の公務員総合学科では、多様化・複雑化した現代社会に対応できる広い視野と柔軟な発想を持った自律的な職業人を国家、地域社会に送り出すために、以下の社会人としての自己管理能力（自己理解力）、使命感・倫理観、コミュニケーション能力、基礎的な実務処理能力（業務遂行能力）の4つの力を習得し、所定の要件を満たした場合に卒業認定し、専門士の称号を授与します。

1. 社会人としての自己管理能力（自己理解力）：国家や地域社会の問題に関心を持ち、幅広い知識・教養・技術を身につけることができる。自身が置かれた環境を認識し果たすべき役割を理解するとともに、その実現に向けた行動が自律的にできる。
2. 使命感・倫理観：国家や地域社会への愛着を持ち、他者との協働の重要性を理解し、行動することができる。全体の奉仕者になるための使命と責務を自覚し、高い倫理観のもと、公正・誠実に対応することができる。
3. コミュニケーション能力：良好な対人関係を築くために、社会人としての基本的礼儀作法を身につけ、文章作成やプレゼンテーションを適切に実施することができる。自らの意見をわかりやすく表明し、自らの提案や意見を的確に理解させ、議論することができる。
4. 基礎的な実務処理能力（業務遂行能力）：国家、地方公共団体等において、与えられた担当業務を正確かつ迅速に処理するための知識・技能に基づく基礎的な実務処理能力（業務遂行能力）を身につけることができる。組織の目標や課題を正確に把握するための計画や施策等に関する基礎的な知識を習得することができる。

目指す試験・資格

- 国家公務員試験合格
- 地方公務員試験合格
- 独立行政法人試験合格
- 簿記能力検定試験2級・3級
- 日本漢字能力検定2級・準2級
- ビジネス能力検定ジョブパス2級・3級
- 文章読解・作成能力検定準2級・3級
- Word文書処理技能認定試験2級・3級
- Excel表計算処理技能認定試験2級・3級
- ニュース時事能力検定3級
- 秘書検定2級・3級
- 計算実務能力検定3級

	1 年 次		2 年 次 (※公務員総合学科のみ)	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	初級公務員試験合格に向けて、学習の基盤を形成する。まずは学習習慣を身につけて、公務員試験を学習していくうえでの各教科の入門的な知識を得る。	初級公務員試験の主要科目を幅広く学び、基礎力を育成する。この期間の学習により、2年目の学習量の負担を大きく軽減することができる。ボランティア実習では、県や市が運営するイベントや地域美化活動に参加する。インターンシップ実習では、地方自治体で職場体験を行う。	初級公務員試験の出題分野をくまなく学習し、応用力を形成するとともに、本番の試験を想定した模擬試験を実施し、より実践的な授業を展開する。面接カードの添削、模擬面接をはじめとした個別指導で面接対策などの2次試験対策を行う。	パソコン、簿記、ビジネスマナーなどの社会人基礎教育を通じ、卒業後に社会人として十分に活躍できる知識を得て、資格取得を目指す。
カリキュラム	社会科学Ⅰ（講義） 人文科学Ⅰ（講義） 自然科学Ⅰ（講義） 文章理解Ⅰ（講義） 判断推理Ⅰ（講義） 数的推理Ⅰ（講義） 教養総合演習Ⅰ（演習） 公務員職種研究Ⅰ（演習） 就職実務演習Ⅰ（演習） 接遇マナー演習（演習） インターンシップ・ボランティア実習（演習） 商業簿記Ⅰ（講義） コンピュータ演習Ⅰ（演習）	社会科学Ⅱ（講義） 人文科学Ⅱ（講義） 文章理解Ⅱ（講義） 判断推理Ⅱ（講義） 数的推理Ⅱ（講義） 資料解釈Ⅰ（講義） 事務適性演習Ⅰ（演習） 公務員職種研究Ⅱ（演習） 就職実務演習Ⅱ（演習）	社会科学Ⅲ（講義） 人文科学Ⅲ（講義） 自然科学Ⅱ（講義） 文章理解Ⅲ（講義） 判断推理Ⅲ（講義） 数的推理Ⅲ（講義） 資料解釈Ⅱ（講義） 教養総合演習Ⅱ（演習） 事務適性演習Ⅱ（演習） 公務員職種研究Ⅲ（演習） 就職実務演習Ⅲ（演習） コミュニケーション演習（演習）	公務員一次試験 公務員二次試験 卒業研究（演習） ビジネス実務演習（演習） 商業簿記Ⅱ（講義） コンピュータ演習Ⅲ（演習）
スケジュール	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 公務員就職準備研修 官公庁視察研修 二者面談 スポーツ大会 全経簿記検定 適性試験大会 職種研究発表会 夏休み インターンシップ実習 ボランティア実習 前期末試験 Word検定 冬休み 後期末試験 Excel検定 集団面接大会 春休み	公務員就職準備研修 官公庁視察研修 早期試験 各種ガイダンス 三者面談 適性試験大会 受験申込 一次試験 二次試験 面接対策 前期末試験 合格発表 春休み 各種検定試験 卒業研究発表会 後期末試験 卒業式		

主な科目内容	
社会科学Ⅰ・Ⅱ（講義）	公務員試験の科目である政治、経済、社会、時事問題分野の講義、過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
人文科学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（講義）	公務員試験の科目である日本史、世界史、地理、倫理、文学芸術、国語分野の講義、過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
自然科学Ⅰ・Ⅱ（講義）	公務員試験の科目である生物、地学、物理、化学分野の講義、過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
文章理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（講義）	公務員試験の科目である現代文、英文、古典（古文、漢文）分野の講義、過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
判断推理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（講義）	公務員試験の科目である判断推理分野の講義、過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
数的推理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（講義）	公務員試験の科目である数的推理分野の過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
資料解釈Ⅰ・Ⅱ（講義）	公務員試験の科目である資料解釈分野の過去問題等の問題演習・解答解説で、基礎力を育成し、応用力・実践力を強化する。
教養総合演習Ⅰ・Ⅱ（演習）	本試験を想定した公務員試験対策模擬試験を定期的に行い、実力を身につける。受験志望先に合わせた判定が出るので、総合的な実力判定ができる。
事務適性演習Ⅰ・Ⅱ（演習）	公務員試験科目である適性試験の学習を実施し、回次で自身の得点を把握し、目標到達のための原因分析を行い、改善点を見つけることができる。
コミュニケーション実習（演習）	社会人として必要なコミュニケーション能力をグループワークを通して学び、多様化する社会に対応できるようにする。
公務員職種研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（演習）	公務員の職種について毎回違う職種についての理解を行い、就職決定に向け多くの選択肢を得る。また各官公庁等の見学を通じて、自分自身が目指す公務員の理解を深める。
就職実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（演習）	各官公庁の方を招き、職業理解のためのガイダンスを行い、多くの職業について理解するとともに、間違いのない職業選択を目的とする。
インターンシップ・ボランティア実習（実習）	インターンシップ実習では、地方自治体や地元企業で実習を行い、地域社会への理解とコミュニケーション能力を身につける。ボランティア実習では、様々な現場を体験し、奉仕の心を身体で学ぶことができる。